

日本災害復興学会石巻大会公開シンポジウム

被災地から未来へ ～子どもたちと考える復興～

第1部 東日本大震災当時小中学生だった語り部3名からの報告



小国 夢夏（おぐに ゆか）さん

岩手県立大学宮古短期大学部1年。
岩手県の大槌町大槌中1年のときに震災に遭い、祖父母を亡くした。
自宅は全壊し、仮設住宅から中学、高校へと通った。解体の方針があった大槌町の旧役場庁舎の保存を訴えた。



津田 穂乃果（つだ ほのか）さん

宮城県石巻高校2年。宮城県の東松島市大曲小5年のときに学校で被災した。自宅は津波で流失。大切な友達を亡くした。小学校時代の仲間2人と共に語り部活動を行っている。共著に『16歳の語り部』（ポプラ社）。



勝又 愛梨（かつまた あいり）さん

宮城県石巻北高校3年。震災の年に宮城県の女川町女川中学に入学。中学時代から同級生らと津波到達点を伝える「女川いのちの石碑」を町内に建立。21カ所が目標。「千年後の命を守るために」を合言葉に活動する。

第2部 パネルディスカッション～第1部の報告を受けての議論～

- コーディネータ：佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所・助教）
- パネリスト：阿部 秀保（東松島市長）
北村 育美（福島大学ふくしま未来学推進室事務局 地域コーディネーター）
佐藤 敏郎（NPO KIDS NOW JAPAN事務局長）
矢守 克也（京都大学防災研究所・教授）
- 総括 中林一樹（日本災害復興学会会長）

日時

2016年10月2日（日）午後13時30分～16時30分

会場

石巻専修大学 森口記念館
宮城県石巻市南境新水戸1番地

主催

日本災害復興学会

共催

石巻専修大学

入場無料

問合せ先：日本災害復興学会事務局
（関西学院大学 災害復興制度研究所内）
TEL: 0798-54-6996 e-mail:office@f-gakkai.net